

# 広島県中小企業団体中央会 2021年12月分情報連絡一覧表

※本調査は1月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する1月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

## ●食料品

### 広島県東部菓子商工業協同組合

12月は、特別に売れる月であることから前月比は増加し、前年比でも約6%増加した。新型コロナウイルス感染症拡大の兆しが見え、再び売れなくなることも予想される。原材料および資材、人件費をはじめ経費が高くなって収益を圧迫している。

### 中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比12.0%増加、前年同月比4.1%増加となり、売上高は前月比14.5%増加、前年同月比7.8%増加となった。

(繊維・同製品)

## ●繊維工業

### (一財) 広島県織物工業会

昨年のはじめはまずまずの状況で推移していたが、9月頃から生産が減少した。その後、新型コロナウイルスの収束も見え始めてきたというときに、感染力が強い「オミクロン株」が出現し、猛威を振るっている。またここに来て、いろいろと規制がかかるのではないかと不安に思う。但し、大手企業からは、軒並み良い決算の情報が伝えられている。

今年の冬は、当初より「寒くなる」と言われており、冬物が売れると思っていたが、新型コロナウイルスの影響により、消費は、高級品以外はもう一步のところであり、現実はなかなか厳しい状況である。

### 広島アパテック協同組合

見通しは依然としてよくない。技能実習生を受け入れている事業者（主に縫製）は人員不足が顕在化してきており、企業によっては生産数量に影響が出ている。技能実習生の中でも特に中国は帰国要望が強い。

本来の主力製品以外のものでも注文によっては対応している。

組合員1社が体調不良及び業績不振により、廃業した。

(木材・木製品)

## ●木材・木製品

### ひろしま木材事業協同組合

国産材の県内原木市況について、スギ原木は引き続き製材用・合板用ともに買い気が強く、慢性的に不足感が強い。本格的な冬の到来を受け、少しでも在庫を確保する為、市場ではスギの価格が強含みで推移している。

価格が高騰していたヒノキ原木は、7月を頂点とし、11月には大きく相場を下げ、さらに12月には再び緩やかな下降へ転じた。製品も、供給が行きわたったこともあり下降基調が続いている。年明け以降は海外製品の入荷状況に左右されることもあり不透明感が漂っている。

12月の国産材原木の入荷状況は、予想された程に広島県内の各素材生産業者は雪の影響は受けておらず、出材は順調であった。

### 福山木材協同組合

春先以降は、業況の悪化が予想される。

### 広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和3年11月の全国新設住宅着工戸数は73,414戸で前年同月比3.7%増加
- ・季節調整済年率換算値では848千戸で前月比4.9%減少
- ・利用関係別では持家は25,329戸で前年同月比5.5%増加、貸家は26,819戸で1.4%増加
- ・分譲住宅は20,813戸で6.5%増加、また木造住宅は44,881戸で対前年同月比3.4%増加

全体の住宅着工動向は、前年同月比9カ月連続の増加となったものの、伸び率は鈍化している。コロナ禍の物流混乱で資材全面高となったウッドショックの収束は不透明で、今なお様々な分野で値上げの動きが広まっており、今後の動向を注視していく必要がある。

<広島>

- ・11月の着工戸数は1,692戸で対前年同月比6.8%増加
- ・内訳としては、持家は506戸で15.0%増加、貸家は740戸で1.2%増加、分譲は446戸で18.0%増加と、県全体の住宅着工動向は8カ月連続の増加となった。
- ・地域別では福山市が533戸で前年同月比80.7%増加、呉市が61戸で48.8%増加の一方、広島市は674戸で6.4%減少、東広島市は88戸で55.3%減少、廿日市市は61戸で39.6%減少と地域間で差が見られる。

ウッドショックによる木材の品薄はほぼ鎮静化し、プレカットの受注も堅調に推移しているが、アメリカ・中国の住宅需要の落ち着きや合板不足・職人不足などで、今後の受注減を懸念する声や、来期の業況悪化を心配する企

業もあり、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今後も新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、時代の変化に対応していかなければならない。また、年々、師走の慌ただしさが減っているように感じる。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

新型コロナウイルス感染症が再び急速に拡大しつつあり、これから経済対策と共に感染対策の舵取りが求められる。

全世界的に天然ガス、石炭が不足するなどエネルギーが高騰しつつあり、電力不足が欧州、中国、インド等で顕在化し、サプライチェーンの乱れが生じている。

また、原材料も、石油価格高騰と供給制約により上昇を続けており、自動車メーカーの半導体不足による減産が続く中、運賃上昇と人員不足も加わり、かつてない危機感を感じている。さらに、円安になっており、日本においてはスタグフレーションが進行していると思われる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連は減産の状況であったが、11月に入り急な増産体制となった。設備操業度が上昇し、人手不足で残業や休日出勤で対応しているのが現状である。

原材料等の価格上昇で、採算性は悪くなっている。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

R3年12月 2,883m<sup>3</sup> (対前年比16.22%減少)

R3年11月 2,880m<sup>3</sup>

R2年12月 3,441m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

燃料・原材料・人件費が上がったことで、販売価格を上げざるを得ない。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比9%増加、前年同月比3%増加となった。

スポット受注の増加による影響が増加要因である。

内外需とも堅調に推移しており、大型受注も加わって高水準の受注を維持している。

部品の調達に難航しており、納期の長期化が引き続き懸念される。

海外出荷では、コンテナ船の手配が難しくなっている。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月の売上は前月比5%増加、前年同月比10%増加となった。

受注の増加が売上につながったことが要因である。

電子部品の価格上昇と、調達に難航する部品があることが先行きの懸念材料である。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

新型コロナウイルスの影響による半導体の供給不振はほぼ解消され、12月はフル操業での生産をしている。今後は、供給リスクは部分的にあるが、ほぼ新型コロナウイルス感染拡大前のレベルに回復。今春立ち上げの新型車の生産準備を人的資源も含めて行っている。

・12月の国内自動車販売台数は全需が336千台、前年同月比11.4%減少と6ヶ月連続での前年割れとなった。登録車も前年同月比10.2%減少と4ヶ月連続で前年割れ、軽自動車も同13.6%減少と7ヶ月連続で前年割れとなった。マツダ車は同9.7%増加と7ヶ月ぶりに前年超えとなった。

・アメリカの11月の全需は1,023千台で、前年同月比15.9%減少と4ヶ月連続で前年割れ。マツダ車は同5.3%減少と、前年同月を3ヶ月連続で前年を下回る結果となった。

- ・欧州の11月の全需は1,031千台で、前年同月比18.1%減少と5ヶ月連続で前年を下回る。マツダ車は同24.3%減少と前年同月を3ヶ月連続で前年を下回った。
- ・中国の11月の全需は2,100千台で、前年同月比24.5%減少と8ヶ月連続で前年割れ。マツダ車は同21.2%減少と8ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・これまでの半導体不足の影響による車両供給の滞りが継続しており、マツダ車の11月の海外販売は、すべての地域でマイナスとなり、73.3千台、前年同月比22.6%減少と4ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・マツダ車の11月の輸出台数は、前年比22.2%減少と5ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・マツダ車の11月の国内生産台数は、前年同月比10.7%増加と5ヶ月振りに前年超えとなった。

#### 八本松工業団地協同組合

建設業、自動車部品加工業の状況が悪化している。  
 材料費の高騰をうけて、価格調整ができた企業は、収益が好転した。  
 海外から部品を調達している企業は新型コロナウイルスの動向により、今後影響が出る可能性がある。  
 業種ごとで見ると、それぞれ仕事量の増減が激しい。  
 全体的に、仕入れ価格の高騰により、収益が悪化している。

#### ●輸送用機械器具（造船）

##### 中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和3年11月の船舶建造許可実績は5隻、198,980総トンであった。（前月0隻。前年同月3隻、52,000総トン。）

なお、内訳は国内船は1隻で油槽船、輸出船は4隻で貨物船3隻、油槽船1隻であった。

##### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

##### （卸売業）

#### ●卸売業（総合）

##### 協同組合広島総合卸センター

原油等原材料高騰の影響から、具体的な設備投資への取組みは様子見の観を呈しており、荷動きや売上・逸失利益挽回にはやや時間を要する見通しだが、消費マインドの改善など令和4年夏季以降には、新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻ることを期待している。

#### ●卸売業（生鮮）

##### 広島水産物仲卸協同組合

今後の業況は、新型コロナウイルス感染症の状況次第である。

#### ●卸売業（電設資材）

##### 広島県電設資材卸業協同組合

半導体不足の影響でいまだに商品不足が継続しており、長期化の恐れが出てきている。

#### ●卸売業（昼・敷物）

##### 広島県藁製品商業協同組合

畳表の取扱いは、先月に若干の持ち直しがあつたが、年末を挟んだこともあり、前年同月比30.2%減少となった。産地熊本も12月は植付となり、取扱量は減少しているが、その分価格の下げはない状況である。

JAS畳表については、累計では前年同月比22.4%増加と需要増で推移している。

びんご特撰とJASの合計金額取扱量は、累計で前年同月比8.7%増加で推移している。さらに、年末にかけ業者も訪問営業などを行い、取り扱いの増加を期待するが、新型コロナウイルスの影響が懸念される状況である。

##### （小売業）

#### ●各種商品小売業

##### 広島生鮮三品連絡協議会

中央市場12月の取扱高は、水産部はほぼ前年並みの水準、青果部は前年より微増で推移した。

広島県の新型コロナウイルス感染拡大は落ち着いているものの、昨年同様、忘年会需要の低迷は大きい。一部の観光地を除き、飲食・宿泊関連業者の業績回復にきっかけがつかめない状況が続いている。

12月の後半、クリスマス、年末に向け歳時ごとに売上が伸びた後、年明けから売上が落ち込む売上の波型パターンがあるが、大手量販店等が元日から営業することで、買い溜めをしない消費者動向が定着し、売上の波型パターンがなくなる傾向になってきた。

一般食品の相次ぐ値上げに、生鮮食品（年末商材の鰯、有頭エビ、ハマグリ等）の高騰が重なり「利益率が落ちた」との声が多く聞かれた。

食品値上げに対し、消費者が敏感に反応し、年末年始以降、購買意欲が冷え込む懸念が出てきた。

年明け以降も続く、食品の追加値上げにトレー等梱包材や燃料代（輸送コスト）の値上げなど収益率下落の要因が重なるため、収益力の向上が大きな課題となってきた。

##### 協同組合三次ショッピングセンター

客数は若干下がっているが売上は前年を維持している。降雪の影響もあり来店頻度は減って、まとめ買いが多かったと推測される。衣料品店は秋以降前年より20%~30%売上が伸びている。

前年度より新型コロナウイルスの影響は少ないが1月、2月頃また感染拡大し客数が減少しないか心配である。

年々、人口減少と買い物客の市外流出で食品、日用品店以外の物販は厳しい状況だと感じる。

#### ●家庭用電気機械器具小売

##### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比8%減少となった。

商品別では、薄型テレビ同11%減少、DVD同32%減少、冷蔵庫同6%増加、洗濯機同11%増加、IHクッキングヒーター同6%増加、エコキュート同62%減少、エアコン同15%減少、炊飯器同15%減少、空気清浄機同43%減少となった。

給付金支給後の売上増加に期待感はあるが、年が明けてから新型コロナウイルス感染症が増えており、営業活動に影響が出ないか心配である。

一部商品は半導体等の部品不足による商品供給面が改善されず、目処がたっていない。特に、エコキュート・温水器関連に影響が出ている。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

原油価格は依然高い水準が続いているが、小売価格は若干低下。販売事業者にとって、利益確保しづらい状況が続いている。

（商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

呉市の新型コロナウイルス感染者および入院患者は、10月下旬以降2ヶ月余り発生しておらず、市内の事業者は、飲食店をはじめとして概ねコロナ前の営業状況に戻りつつあった。

ただし、人手不足の状況は依然として続いている。

また、12月下旬に呉市内において帰国児童の感染者や濃厚接触者の発生が公表されたことおよびオミクロン株の感染拡大の報道を受けて、官庁や企業で忘年会、新年互礼会等の中止が増えている。

（サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比3.2%増加、前年比4.9%増加。

車検場収入は、前月比1.5%増加、前年比2.8%増加。

重量税・登録印紙の売上は、前月比2.0%減少、前年比15.3%増加。

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

全体的に稼働している状況である。

ここ数ヶ月の稼働状況では、例年閑散期ではあるが増加傾向の見通しである。

原材料費が第2次、第3次と次々に高騰している。

（建設業）

#### ●工事業

##### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、12月は前月比6.1%減少、前年同月比10.7%減少、前年累計比も30.2%減少と引き続き厳しい状況が続く。敷物の落ち込みが特に大きい。

1件ごとの仕事量が少なく、大きな販売増加に繋がっていない。今年度はこの状態が続くと思われる。

##### 福山地区電気工事業協同組合

12月分の工事受付件数は前月比50.7%減少、前年同月比4.9%減少となった。

（運輸業）

#### ●道路貨物運送業

##### 松永地区トラック事業協同組合

12月の売上高は、前月比、前年同月比ともに大きな変化はなかった。

新型コロナウイルス感染拡大が収まってきているが、物量は感染拡大前の水準にまだ戻っていない。12月は貨物量が増えるだろうと期待していたが、12月中旬以降は下降線を辿って減少した。

燃料価格は高騰したままで横ばいである。さらに排ガス規制に対応するためにトラックに使用する尿素水（アドブルー）の原料となる尿素的の輸入が鈍化して、韓国だけでなく国内でも尿素水が不足して高騰するなど、収益は落ち込む一方である。

##### 広島輸送ターミナル協同組合

12月の荷動きは昨年より良くなったが、例年には及ばない状況である。新型コロナウイルスの感染者数は減少から転じ、再び増加傾向にあり、今後の売上動向が読み辛くなった。

燃料価格は10月をピークに若干下がったものの、高値圏での推移となっており、各社、運送コスト増により、利益は出にくい状況と思われる。

原油価格の高騰が続いている現状において、燃料価格が下がることは望めず、運送関係は収益減を余儀なくされるのではないかと思う。

## ●水運業

### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、若年船員の育成が進まないなど、船員不足の状況が続いている。

また、運賃・用船料の改善が依然として見られない状況である。

(その他)

## ●不動産業

### 広島県不動産評価システム協同組合

前月比・前年同月比は特に変化なし。

1月も12月に引き続き公的評価作業が多忙であったため、一般評価作業が減少した。

依然として旧市街地の建売用地の供給不足により、素地価格（業者仕入れ値）が上昇傾向にある。

建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延（コンピューター材料不足による給湯設備・台所設備・トイレ設備等の製品不足）により、完成工事の遅れが出ている。